

～教科等を越えた全ての学習の基盤として生まれ活用される資質・能力である情報活用能力は、
教師（あなた）が、いつも教えている単元等で、ちょっとだけ意識すると、育成することができます。～

要素	概要	学習内容	関連する単元等		
			低学年	中学年	高学年
活動スキル	コンピュータや図書などのさまざまな情報手段を活用するための基礎的な知識・技能 	A1:タブレットで撮影・編集する A2:PCで文字入力やファイル管理する A3:WEB閲覧・検索する A4:図書館で図書・資料を探す A5:インタビューする A6:アンケートをする A7:メモをとる A8:口頭で発表する	○情報を集めたり、発信したりすることに関わる基本的な活動をマナーを守って行うことができる。	○情報を集めたり、発信したりする際にコンピュータを含む情報手段を適切に活用することができる。	○情報を集めたり、発信したりする際、適切な手段を選んで活用することができる。
			生活1年「がっこうたんけん」「きれいにさいてね」 国語1年「すきなもののクイズをしよう」 国語2年「まよい犬をさがそう」「たからものをしょうかいしよう」 ○端末の基本操作	国語3,4年「ローマ字」 国語3年「インタビューしてメモをとろう」 国語4年「報告しますわたしたちの生活」 社会3年「のこしたいもの、つたえたいもの」 理科4年「夏の星 月や星の動き 冬の星」	国語5年「資料を生かして考えたことを書こう」 国語6年「資料を生かして呼びかけよう」 社会5年「米づくりのさかんな地域」 家庭5年「上手に使う物やお金」 図工6年「お気に入りの場所」 たく12「話の聞き方と話の伝え方」
探究スキル	収集した情報を精査し、整理・分析し、まとめ・表現する際に働く思考・判断・表現力 	B1:情報の信頼性を吟味し、取捨選択する B2:複数の情報を読み取り、比較・分析する B3:情報を組み合わせて新たな考えを作る B4:伝達内容を構成する B5:表現手段を選び、特性にあった工夫をする B6:受け手を意識した表現を工夫する B7:探究する計画をたてる B8:ふりかえり、計画の改善をする	○情報を編集（整理・分析や表現）する際、与えられた視点や観点のもとで工夫して取り組むことができる。	○情報を編集（整理・分析や表現）する際、学びの見通しを持って視点や観点を理解し、試行錯誤することができる。	○情報の収集・編集（整理・分析や表現）・発信の過程を自ら組み立て、状況に応じて評価・改善することができる。
			生活1年「あたらしい1年生をしょうたいしよう」 生活2年「まちたんけん」 国語2年「同じところ ちがうところ」「ふるしきは どんなぬの」「あなのやくわりを考えよう」 たく57「ワニとキュウリ、何が同じで何が違う？」	国語3年「世界の家のつくりについて考えよう」 国語4年「くらしの中の「和」と「洋」を調べよう」 社会3年「店ではたらく人」 社会4年（「まちの安全マップ」） 「事故や事件からくらしを守る」 たく44「情報はすべて正しいの？」	国語5年「伝えよう委員会活動」「新聞の投書を読み比べよう」「新聞記事を読み比べよう」 国語6年「町の未来をえがこう」 家庭6年「くふうしよう おいしい食事」 理科6年「水溶液の性質とはたらき」 社会5年「これからの食料生産とわたしたち」
プログラミング	問題解決の手順を理解し、コンピュータの特性をいかして思考・判断・表現する力 	C1:物事を部品（部分）に分けてとらえる C2:部品の関係性をみつける C3:問題解決の手順を組み立てる C4:ラベルをつけて分類する C5:多くのデータから傾向をみつける C6:試行錯誤を繰り返して解決する C7:情報技術の将来を考える	○問題の解決には手順があることを理解する。	○問題解決や表現活動の際、コンピュータに与える論理的な手続きやデータをさまざまに工夫できることを体験的に理解する。	○コンピュータを使った問題解決や表現活動を通して、情報技術の価値を社会や自らの将来に関連づけて考えることができる。
			生活1年「がっこうたんけん」 音楽2年「おまつりの音楽をつくろう」 算数2年「わかりやすくあらわそう」	図工4年「ゆめいろらんぶ」 算数3年「見やすく整理してあらわそう」 算数4年「グラフや表を使って調べよう」	算数5年「偶数と奇数、倍数と約数」「図形の角」「正多角形と円周の長さ」 算数6年「資料の特ちょうを調べよう」 社会5年「社会を変える情報」 理科6年「電気と私たちのくらし」 図工6年「おどる光、遊ぶかげ」
情報モラル	情報社会や情報手段の特性の理解と、安全かつ適切に情報手段を活用しようとする態度 	D1:発信者としての責任 D2:著作権や肖像権等の権利 D3:情報技術と健康 D4:ルールをつくり、守ること D5:セキュリティ D6:個人情報の扱い D7:情報社会の将来を考える	○自他の情報を大切にし、ルールを守って安全に情報手段を使用しようとする。	○情報手段の利便性と危険性を理解し、自他への影響を考えて適切に使用しようとする。	○情報社会の価値や課題を認識し、情報手段の適切な活用や啓発に積極的に取り組もうとする。
			国語2年「本でしらべよう」 道徳2年「いのちはいくつもあるのかな」 学活2年「家ででの過ごし方を考えよう」 ○安全な扱い方	国語4年「くらしの中の和と洋」 道徳3年「それは、だれの作ひん」 道徳4年「けいたい電話の落としあな」 保健4年「よりよく育つための生活」	国語6年「情報を活用するとき気を付けよう」 家庭6年「考えようこれからの生活」 社会5年「情報を生かすわたしたち」 たく94「ゲーム・スマホ・携帯と上手に付き合おう」

★単元は例であり、すべて情報教育に関連づける必要はありません。他の単元に関連づけることもできます。ぜひ、一緒に考えてみてください。

★「たく」は仙台版たくましく生きる力育成プログラムです。

隙間時間の10分指導・児童会による主体的な活動